

つなげる 平和への願い

市長 聖灯花弘

原爆の日・終戦の日を迎え、ここに改めて戦争の犠牲になられたすべての方々に哀悼の誠を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平和な日常がどんなに尊いものであることか、毎年この時期を迎えると深く考えずにはいられません。今年、終戦から75年を迎えます。月日の流れとともに、戦争を知らない世代が増えました。

私たちにあって、戦争は他人事ではありません。世界で唯一の被爆国であり、核兵器による痛みを唯一知る私たち日本人は、世界へ核兵器の廃絶を訴えていくとともに戦争の恐ろしさ、平和の尊さを語りついでいかなければなりません。戦争を実際に体験し、当時の忘れられない記憶、戦争の愚かさ、悲しさ、平和の尊さを次世代へ語り継ぐ活動をされている方々がいらつやいます。戦争体験者の方々の高齢化が進み、その記憶や教訓をどのように受け継ぎ次世代へ引き継いでいくのかが

大きな課題となっています。私たちの平和と繁栄は、たくさんの方々の尊い犠牲のうえにあることを忘れてはいけません。

今年、新型コロナウイルス感染症の影響で、広島平和記念式典と長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典は規模が縮小され、毎年7月に実施していた本市のピースフェスティバルも中止となりました。

新型コロナウイルス感染症が市民生活に与えた影響は大きく、市民の皆様におかれましては、現在もさまざまなご不便を感じておられると思います。この機会に富士見市非核平和都市宣言をお読みいただき、平和な日常の大切さについて考えていただければと思います。

戦争の悲しさ、平和の尊さ、先人たちから引き継いだ想いを次世代へつなげていただきますようお願いいたします。

戦争体験者インタビュー

戦争体験者が残した「言葉」

月日が流れ、戦争を意識する機会も減ってきた昨今。実際に戦争を体験し、語り継いできた杵渕さんに、当時の状況や語り継いでいくことの大切さを伺いました。

戦時中、私は旧制女学校の学生でした。市内の語り部の仲間には、空襲でご家族を亡くされたのにも関わらず、出兵の直前だったために、葬儀も満足にできなかった方もおられます。

幸運にも、当時の私の周辺にはそのような凄惨な体験はありませんでした。しかし、学校に軍人が常駐し、あいさつは敬礼、人形をめぐって竹槍を突くような戦前の教育と、敵国の言語であったはずの英語教育が奨励され、自由と笑顔が溢れた戦後の教育のギャップには大きな衝撃を受け、それまでの人生を根底から覆されました。「これからの子どもたちには戦前のような敵対心を煽る教育を受けさせてはいけません」と心に深く刻んだものです。



杵渕 久美子さん
平成16年から語り部として小学校で戦時中の体験を伝える活動をしている



二度と戦争を起さないために戦争体験者である私たちにできること。それは、私たち自身が教科書となり、後世に戦争の愚を伝えることにはかなり重宝です。これは私たち戦争体験者の責任だと考えています。

語り部を始めて長い時間が経ちましたが、話を聞いているときの子どもたちの真剣な眼差しは変わりません。終わりには「身近に戦争を体験した人がいたら、ぜひ話を聞いてね」と伝えていきます。想いのこもった言葉を直接肌で感じるのが一番伝わるからです。時の流れとともに体験を語れる方も少なくなってきましたが、戦争の記憶を後世に伝えたいと考えた方々による記録が多く残されています。新型コロナウイルス感染症の影響で平和事業の取組みが難しい状況ですが、今だからこそ書籍などを通して戦争体験者が残した言葉に触れ、戦争の愚かさや平和の尊さについて考えてみてください。

「今すぐ核兵器を捨てよ」と訴えますこの市民の声と願いを
非核平和都市 富士見市の宣言とする
一九八七年七月十九日 富士見市

市民が綴った記録・記憶

中央図書館では、戦争を体験した市民の方が綴った書籍などを閲覧することができます。下図は、そうした書籍の一例です。

黙とうを捧げましょう

市では、原子爆弾や第2次世界大戦で犠牲になられた方々のご冥福と、核兵器をなくし平和な世界が実現することを願い、次の日時に防災行政無線を通じ、市民の皆さんに1分間の黙とうのご協力をお願いしています。

- 【広島市原子爆弾投下日】 8月6日午前8時15分
- 【長崎市原子爆弾投下日】 8月9日午前11時2分
- 【終戦記念日】 8月15日正午

富士見市非核平和都市宣言

私たちは、何よりも家庭の平和を願い世界の平和を願っています
しかし、地球をおおっている核兵器は世界の平和と安全を脅かしています
私たちは、広島・長崎の過ちを再び繰り返さずにはなりません
私たちは、平和憲法を大切に
世界中の人びとと手をつなぎ
核をもつすべての国に
「今すぐ核兵器を捨てよ」と訴えます
この市民の声と願いを
非核平和都市 富士見市の宣言とする
一九八七年七月十九日 富士見市

<p>島田一雄著 『自分史 道』</p> <p>館内のみ</p>	<p>島田一雄著 『わたしの戦争体験』</p> <p>館内のみ</p>	<p>後藤ただし著 『おじいちゃんの生還 自分史』</p> <p>館内のみ</p>	<p>ふじみビデオクラブ制作 『戦争体験を語る』</p> <p>貸出可</p>	<p>関口たつき著 『太陽は昇った』</p> <p>貸出可</p>	<p>関口たつき著 『ふるさとは信州』</p> <p>館内のみ</p>	<p>関口たつき著 『おばあちゃんが語る 戦争の話』</p> <p>貸出可</p>	<p>関口たつき著 『せんそうってなに』</p> <p>館内のみ</p>
--------------------------------------	---	---	---	---------------------------------------	---	---	--

※ふじみ野分館では貸出可

※ふじみ野分館では貸出可